中国海南島におけるイスラム墳墓の墓碑について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 林, 宗偉 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/2959

「中国海南島におけるイスラム墳墓の墓碑について」

林 宗偉

唐代以後、海上交貿が盛んになるに従い、海南島は海のシルクロードの要衝となっていた。当時海南島は中国からの海のシルクロード最前哨である。

本稿ではまず、海南島の地理的条件及びイスラム古墳群に対して簡単に説明をする。次に、海南島イスラム古墓群について、墳墓の構造、人骨出土の状態、出土された墓碑の形・材質・文様及びその構成法を説明する。特に墓構造の特徴や墓碑頂点部形状に着目し、その形態的特徴の分析により、王克栄氏とは異なる形式分類を設定した。また、装飾文様についても様々な角度で分析を行い、更に、東南沿海地域のイスラム墳墓との比較検討を行った。その結果、古墓の構造と墓碑全体の形状、文様の装飾、円文と枠などの問題をまとめて考慮し、相違点が多い為、墓碑の違いは地域の差異だけではなく、系統的に全く関連がないと考えられる。

広州市回族墓地の墓碑